

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	413	児童福祉一般経費	会計	01	一般会計
			款	03	民生費
基本施策	8	子どもを産み育てやすい環境をつくる	項	04	児童福祉費
			目	01	児童福祉総務費
担当部課名	青山支所 健康福祉課		細目	101	児童福祉一般事業経費
作成者氏名	奥田 充法	連絡先	52-3228	細々目	01
					児童福祉一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	児童及びその保護者	経済負担の軽減を図る
本年度事業内容	保育所・放課後児童クラブの入所関係事務及び児童手当等申請受付事務や子育て支援、児童福祉法に基づく援護措置等に関する業務並びに一般事務経費	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	168	60	60
	委託料	19		
	その他	149	60	60
	合計(A+B)	3,768	3,660	3,660
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	3,768	3,660	3,660
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
保育料算定電算システム借上料	千円	104	0	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
児童手当受給率	受給申請件数	%	100	100	100
	受給対象件数		目標(100)		
			目標		
			()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<p>複雑化した社会状況の中、少子化・高齢化が益々進み、世帯人員の減少や共働き家庭の増加などにより家庭扶助機能が弱体化しており、この事業の必要性は大きいものがある。児童福祉一般事業について、本庁中心の事務事業となり、平成18年度から支所経費は節減されている。</p>

評価	必要性	4	支所業務として、市民からの申請等が必要な、保育所・放課後児童クラブ等の入所決定や児童手当、(特別)児童扶養手当の申請関係などの分担をになっており、市民のサービス向上に努めている	総合評価
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A